

第34回

母親会員交流会

困難を
乗り越え
開催

～きびしさのなかに愛を やさしさのなかに節度を～

研究主題 今だからこそ 未来に向かってともに生きる

12月3日（金）に県生涯学習センターに於いて「第34回母親会員交流会」が2年ぶりに開催され、全県から47名の母親会員が参加しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響によって止むを得ず中止となり、また、今年に入っても新型コロナウイルスデルタ株による第5波の影響で予定していた期日を延期することで無事開催することができました。母親委員会の皆様の熱意と努力に敬意を表します。

今回は、パレアンヌ代表の中田邦子様を招聘して講演と実習を行いました。講演は「香りを味方につける ー優しい香り 負けない香り 癒しの香りー」という演題で、香りの持つ力や自分にあった香りの選び方・使い方について教えていただきました。実習では、参加者は香り作りの理論を学び、様々な香りを嗅ぎながら組み合わせや配合を考え、自分にあったオンリーワンの香水作りに一生懸命取り組みました。参加者の皆さんの笑顔が絶えない1日となりました。

今だからこそ
未来に向かって
ともに生きる

母親委員会委員長
樫尾 春香
(大曲農業)

秋田県高等学校PTA連合会の第34回母親会員交流会が12月3日に開かれました。人数制限、時間短縮などの新型コロナウイルス感染対策をしたうえで2年ぶりに開催することができました。

フレグランスデザイナー・香水コーディネータとして、日本フレグランス協会の常任講師を務めているパレアンヌ代表の中田邦子氏を講師としてお迎えし、「香りを味方につけるー優しい香り 負けない香り 癒しの香りー」をテーマに講演会を行いました。

中田氏からは、香りがもたらす役割、香り与健康とのつながり、美しい年齢の重ね方など、母親として、そして女性としての生き方に関わるお話をいただきました。また、実習では参加者一人一人がオリジナルの香水作り体験をすることができました。マスク越しでも香りに癒され、参加者全員が笑顔になれる一時を過ごすことができました。

母親委員会の今年度のテーマは、未来が今よりもより良くなること信じ、今とともに頑張り、ともに生きるという想いを込め、「今だからこそ 未来に向かって ともに生きる」になりました。大変厳しい環境の下、子どもたちは、限られた時間、限られた選択肢の中でも夢に向かって一生懸命頑張っています。持続可能な社会の創り手として、たくましく生きる子どもたちを母親として精一杯支援していきたいと考えております。



中田邦子氏の講演会の様子



オンリーワンの香水作りに挑戦



交流会の最後に皆さんで記念撮影

交流会に参加して
(参加者のアンケートから)

- ・講演を拝聴し、実習を行っている中で癒されている自分を感じながら時間を過ごすことができました。
- ・とにかく楽しかった。久しぶりにワクワク感がいっぱいです。
- ・子育てや日々の生活の中にも香りを有効に活かしていきたいです。

編 集 後 記

多くの皆様からご協力を頂き、本号が発行できましたことに感謝申し上げます。創立70周年記念式典での橋本五郎氏の講演では、氏の生い立ちから幼少期の兄妹、母との愛情あふれるエピソード、学生時代の恩師とのやりとり、新聞記者となり政界での熱い取材風景、そして秋田県知事選打診の裏話など淀みなく語られ、時間を忘れて聞き入ってしまいました。最後に郷土への想いを語りつつ、次世代へバトンを渡し繋いでいく大切さを説かれ、深く感銘を受けました。講演を聞いて、実直に一步步頑張ろうと思うようになりました。

調査広報副委員長 木村 英彰
(大曲農業)

秋田県
高P連会報 No.129

発行／秋田県高等学校PTA連合会 事務局／秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷／秋田中央印刷株式会社



創立70周年記念式典表彰者



コロナ禍での一年間を振り返って

秋田県高等学校PTA連合会
会長 湊屋 啓二

光陰矢の如し。一年の経過の早さを年齢を重ねると共に実感しております。最近ではオミクロン株の急速な蔓延で沈静化していた国内でも再燃し止まる気配のないコロナですが、思い返しますと昨年5月28日に書面決議による総会で会長を拝命して以来コロナと向き合い悪戦苦闘しながらも副会長、理事、監事、事務局の絶大なる力を拝借し一大事業であります秋田県高等学校PTA連合会創立70周年記念事業を無事達成できましたことにご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

私が会長に就任して強力に推進したことの一つはWebによる会議です。この導入により三役による周年事業の打ち合わせが頻繁に行え、全県から時間をかけ秋田市に集合する手間が省け時短、感染防止が達成されました。周年事業に向けては総務、健全育成、進路対策、調査広報、母親の各委員会が綿密な打合せを重ね見事に役割を果たしてくれました。

記念式典においては諸先輩が築いて下さった伝統の重さを感じながら主催者として挨拶をさせていただき、ご来賓各位の祝辞に感謝し、表彰された皆様に敬意を表し厳かな中にも先達から脈々と継承されてきた愛ある絆を実感しました。記念講演は誰もが周知している秋田の重鎮、橋本五郎氏によるクスツと笑えたり涙ありの感動的な話は心に残りました。祝賀会は残念ながらノンアルコールの茶話会形式となり、受賞者の回想は冗舌で流石大先輩たちは違うなと話しの上手さに舌を巻きました。また、初の試みとして製作・演出・出演全て高校生の手による応援メッセージは伝統芸能、運動部とともに初々しく、かつ力強い素晴らしい内容でした。

令和3年度の高P連の活動も余すところ僅かとなりましたが残された事業に全力で取り組む所存です。

秋田県高P連創立70周年

記念式典・記念講演・祝賀会



感謝を込めて花束贈呈



佐野元彦氏の謝辞



湊屋啓二会長の式辞

秋田県高P連創立70周年記念式典・記念講演・祝賀会が、会員皆様のご理解ご協力をいただきながら、11月11日(木)に秋田キャッスルホテルに於いて予定どおり開催されました。

コロナ禍が続く中、開催が心配されましたが、役員の皆様の知恵を結集し、参加人数の制限、感染防止の徹底、そして内容の工夫改善を図ることによって、無事安全に式典を終えることができました。

記念式典は、全県から123名の皆様が参加しました。湊屋啓二会長の式辞のあと、長年高P連の活動にご尽力いただいた53名の方々に對して表彰状、感謝状、特別功労者表彰を授与しました。そして、受賞者を代表して、元会長の佐野元彦氏から謝辞をいただきました。

最後に、県教育長安田浩幸氏、県高校校長協会会長渡部克宏氏からご祝辞を、そして全国高P連会長と東北高P連会長、石嶋勝比古前会長からお祝いのメッセージをいただき、式典は閉じられました。

記念講演は、本県三種町出身で読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏から、「新聞記者として生きて」という演題で、長年ジャーナリストとして活躍されたご自身の経験とそこから得られたこと、そして自分を支えてくれたお母様やご家族の大切さ等についてお話をいただき、観衆を魅了しました。



感謝を込めて花束贈呈



橋本氏の記念講演の様子

橋本氏の記念講演は、右のQRコードからご覧になれます。

視聴期限：令和4年3月31日まで
※視聴はPTA会員様に限ります。



祝賀会は、当初の予定を変更して飲食を伴わない会とし、時間を1時間に短縮し、上映会とスピーチの2部構成で行われました。

上映会では、男鹿海洋高校郷土芸能部の「なまはげ太鼓」の演技、大曲農業高校太田分校郷土芸能部のお祝いのメッセージと「田植え唄・横川ささら」の唄と演技、そして、全国大会で活躍している運動部員からのお祝いのメッセージの動画が上映され、参加者を和ま



男鹿海洋高校「なまはげ太鼓」の演技



運動部（秋田工業高校）からの
お祝いのメッセージ



佐々木克己氏の祝賀会スピーチ

せてくれました。動画は、仁賀保高校メディア情報科の生徒達が作成してくれました。また、スピーチは、表彰者の皆様の中から代表して4名の方から当時の思い出をお話していただきました。

飲食を伴わない短時間の会でしたが、参加者は終始にこやかな表情で高校生の元気と高P連の思い出を共有しました。

たくさんのお祝いのメッセージありがとうございました

第2回理事会・第2回合同委員会

10月7日(木)に秋田市文化会館に於いて、「第2回理事会・第2回合同委員会」が開催され、創立70周年記念式典・記念講演・祝賀会の開催について話し合われました。新型コロナウイルスの感染者が減少しているものの、いつまた拡大するのか先の見えない状況でしたが、運営にあたっては一層の感染拡大防止に務めることと、祝賀会は飲

食を伴わない会とすることで予定どおり開催することが最終的に決定されました。

また、合同委員会では、11月に開催される「令和3年度教育懇談会」で取り上げてもらいたい協議題についてそれぞれの委員会で話し合い、委員の皆さんからはたくさんの意見が出されました。



総務委員会の様子



健全育成委員会の様子



進路対策委員会の様子



調査広報委員会の様子

令和3年度教育懇談会

11月30日(火)に秋田市文化会館に於いて「令和3年度教育懇談会」が開催されました。この懇談会は、秋田県の高学校教育について県教育委員会と学校代表とPTA連合会の間で情報を共有することで、PTA連合会も共通理解を持って子どもを支えていこうという趣旨で実施しています。

県教育委員会からは、生涯学習課社会教育・読書推進班の佐々木達也副主幹(兼)班長と阿部光教副主幹(兼)読書活動指導監、高校教育課指導班の柏谷浩樹主任指導主事が、また、校長協会からは、渡部克宏会長(高P連副会長)と5名の校長先生(高P連理事)が出席しました。そして、PTA連合会からは役員(会長、副会長、監事、理事)19名が出席しました。

今回は、10月7日(木)に開催された第2回合同委員会において各委員会で話し合ってきた協議事項を①教育全般(コロナ禍の学校の対応等)、②教科指導(ICTを活用した教育活動の現状と課題)、③生徒指導(いじめ防止とネットセーフティー)、④進路指導(大学入試共通テスト、就職希望者へのサポート)の4つの分野に整理し、それぞれについて教育委員会からご教示いただき、意見交換や懇談をして理解を深めました。

コロナ禍において行動の制限が厳しい中、県教育委員会の指導のもと各学校で工夫・改善しながら生徒と共に強くたくましく前進している姿が理解できました。



教育委員会からのご挨拶



教育懇談会風景

中央地区

秋田高校PTA会長 佐藤 基直



「子どもを取り巻く社会の変化にどう対応するか～成年年齢の引き下げ、校則問題、教育のICT化etc・・・」

今年度の中央地区交流大会は、新型コロナウイルスの感染防止対策を考慮し、例年に比べ規模を縮小しての開催となりました。ご参加くださいました皆様、ご支援・ご協力賜りました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

前秋田県教育委員会教育長の米田進氏をお招きし、「これからの教育に求められるもの」と題してのご講演と、質疑応答を行いました。ここではユネスコの「学習の4本柱」や、OECDの教育の「3つのキー・コンピテンシー」などに触れ、これからの時代に求められる資質・能力について、学習指導要領が目指す方向性を学ぶことができました。

例年ですとグループに分かれての話し合いや意見交換を行うところ、今回は質疑応答の形式でしたが、活発に意見が交わされ充実した時間を過ごすことができました。

コロナ禍にあつて会員相互が直接語り合う場が設けられなかったものの、今できることを考え、開催できた意義は大きいと思います。改めて感謝申し上げます。



県北地区

小坂高校PTA会長 児玉 透

「地域のよさを知り、地域を支える子どもたちを育成するためにPTAができること」

県北地区交流大会は小坂町の『康楽館』を会場として開催準備をすすめてきました。また、トーク&ライブの演者として、小坂町出身の大間ジロ一氏をお迎えする予定でした。しかし、新型コロナ感染症の拡大を懸念し中止を決断しました。開催中止になったことは非常に残念ですが、準備にあたり関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。



広報紙コンクール審査結果

新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大の影響により、審査会は書面による審査に切り替えて行われました。今回は、21校から応募がありました。審査結果は下記の通りです。

- | | | | | |
|-------|-----------|------------------|-----------------|---------|
| ◆最優秀賞 | ・秋田令和高校 | ・秋田公立美術大学附属高等学院 | ・本荘高校 | ・矢島高校 |
| ◆優秀賞 | ・大館桂桜高校 | ・秋田明徳館高校(外部審査員賞) | ・横手城南高校 | ・能代支援学校 |
| ◆優良賞 | ・秋田高校 | ・大曲農業高校 | ・横手支援学校(外部審査員賞) | |
| | ・西仙北高校 | ・新屋高校 | ・西目高校 | ・仁賀保高校 |
| | ・天王みどり学園 | ・平成高校 | ・横手支援学校 | ・横手高校 |
| ◆奨励賞 | ・秋田北高校 | | | |
| | ・横手清陵学院高校 | | | |

※最優秀賞、優秀賞の作品は、この後、東北高P連広報紙コンクールに秋田県代表として推薦されます。